

## 【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2023年 11月 5日
留学先大学	フィリピン大学ディリマン校 (日本語名) University of the Philippines Diliman (現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している (以下に学部等名を記入) ※学部等名 (日本語) : (現地言語での名称) : <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他 :
留学期間	2023年9月ー2024年2月
明治大学の所属学部等	商学部クリエイティブビジネス専攻 (学部/学科/研究科/専攻等)
学年 (出発時の本学での学年)	4年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

私の恋人がフィリピン人のハーフだったので、彼女からフィリピンのことについて詳しく聞いていた。また現地に住んでいる彼女の兄弟にもいろいろと話を聞き、大学外の住居を探したり、必要なものを用意したりした。準備不足だと感じたのは、日本の製品をもっと持ってくるべきだったことである。寮に入るにしろ賃貸を借りるにしろ一人で済むうえで必要なものを予測し100均等でくまなくそろえておくべきだった。箸、洗濯ばさみ、ハンガー、部屋着など挙げればきりが無いが、現地で購入すると低品質なものばかりなので事前に購入することをお勧めする。しておいてよかったこととしては、フィリピン大学ディリマン校の運営するFacebookに参加し、分からないことを全体のポストで聞いたことだった。フィリピン人は非常にオープンな性格の人が多いため、すぐに返信してアドバイスをくれると思う。

II-1. 留学のための渡航前手続き (留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：観光ビザ	申請先：
ビザ取得所要日数：延長の場合2週間程度 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用：延長の場合8000円~12000円
<b>1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？</b>	
私は観光ビザで入国し、それを毎月延長するかたちで滞在していた。延長にはパスポートとその場で書く書類だけで十分だった。また、ビザの延長料金と同額でマレーシアのコタキナバルに行けるので、出国することで延長するという手段もある。	
<b>2. 具体的な申し込み手順を教えてください。</b>	
ビザが延長できる場所に行き書類を記入したのちパスポートと共に提出する。	
<b>3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？</b>	
<b>4. ビザ取得に関して困った点・注意点</b>	

## II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

## その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

現金はなるべく多め（10～20万円）にもっていき、現地の決済はデビットカードかクレジットカードで済ませることをお勧めする。大型ショッピングモールやコンビニなど普段の生活で利用する店では国際対応のカード（VISA、Mastercard）を使えるため、現金をあまり持ち歩かずキャッシュレスで決済ができる。なぜこれをお勧めするかというと、現金を持ち歩くと盗難のリスクがある、現金を引き出す限度額がありかつ手数料が700円ほどかかるからである。出発前にVISAかMastercardのデビットカードまたはクレジットカードを作っておけば、決済がスムーズになりまた必要な際にはほとんどのATMで日本の銀行から引き出しが可能である。携帯電話に関しては、SIMフリーのスマホに現地のSIMを入れて使用するか、ポケットWi-Fiを持ち歩くかのどちらかがよいと思う。

## III. 現地到着後のながれ

## 1. 到着時の様子

利用航空会社	セブパシフィック航空				
航空券手配方法	スカイキャナーで検索し、トリップドットコムで予約 旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				※利用した
大学最寄空港名	ニノイ・アキノ空港	現地到着時刻	17:15		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ( )
移動の所要時間	1時間				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等 大学が指定した日に送迎してもらうかGrabというアプリをダウンロードしタクシーを呼ぶのがよいと思う。 誰かに話しかけられたり、タクシーなどの勧誘にあっても無視するべき。					
大学到着日	9月2日15時頃				

## 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input checked="" type="checkbox"/> その他（コンドミニアム）
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他（ ）
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input checked="" type="checkbox"/> その他（一人暮らし）
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input checked="" type="checkbox"/> その他（知人に協力してもらった）
住居の申込み手順	1か月前に入居したいコンドミニアムをインターネット（サイト、Facebookなど）で探す→オーナーまたはエージェントに連絡し詳細について聞く→気に入ったら頭金を支払い部屋を確保してもらう→現地に到着後書類の手続きや家賃の支払い等を済ませる。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

見つかった

## 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	9月4日	
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須	<input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容の様子は？	2時間くらい様々な人の話を聞き、あとは出された食事を全員で食べた。	
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月12日から	

**IV. その他、渡航してから必要な手続きについて****1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？**

観光ビザ：SM North EDSA、初回はサポートの人が来てくれる、2週間程度、約8000円

SSP（フィリピンで勉強するためのビザ）：大学内、サポートの人と共に書類を書く、約24000円

**2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？****3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？**

開設する必要はない。日本の銀行口座に国際デビットカードまたはクレジットカードを紐づけしておけばお金を引き出すことができる。

**4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？****V. 履修科目と授業について****1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？**

出発前に（8月15日頃）

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他（ ）

到着後に（9月8日頃）

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他（ ）

**登録時に留学生として優先されることはありましたか？**

あった

なかった

**優先が「あった」方はどのように優先されましたか？****優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？**

履修登録のシステムが複雑で、選択した授業が取れないことや事前に申請していた授業が許可されないことがあったため、登録手順に従いつつ自分で各学部にもメールを送りまくって解決した。

**2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？**

登録したといっても仮登録みたいなものなのでアドバイザーに言えば変更を手伝ってもらえる。

**Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。**

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床・支度						
8:00	授業	起床	起床	起床	起床	起床	起床
9:00	授業	運動・支度	運動・支度	運動・支度	運動・支度	運動・支度	外出
10:00	授業	授業	読書	授業	読書	自由	
11:00	授業	授業	勉強	授業	勉強	自由	
12:00	昼食	昼食	勉強	昼食	勉強	自由	
13:00	勉強	勉強	昼食	勉強	昼食	昼食	
14:00	勉強・帰宅	授業	勉強	授業	勉強	自由	
15:00	自由	授業	勉強	授業	勉強	自由	
16:00	自由	授業	勉強	授業	勉強	自由	
17:00	運動	帰宅・運動	運動	帰宅・運動	運動	運動	
18:00	風呂	風呂	風呂	風呂	風呂	風呂	
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
20:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	
21:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	帰宅
22:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	風呂
23:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	自由	就寝

## VII. 現在までの感想

### 留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

フィリピン大学ディリマン校はフィリピンでトップの大学であるだけあって、英語が完璧に話せてかつ賢い生徒が多いと感じた。ただ大学の設備はとても古くて汚いため、日本の基準で考えていると少し不便に感じる人が多いと思う。授業はほとんどでグループワークかプレゼンテーションが課せられるため、現地学生と協力してこなさなければならず、自己成長につながると思う。ただ、Oh-o Meiji のような統一されたシステムがあるわけではなく、教授によって授業の配布の仕方、進め方、そのプラットフォームはバラバラなので、授業の情報を管理するのが面倒くさい。私は自分で借りた Condominium に住んでいるが、とても快適である。家賃は 30000 円～50000 円で一人用の部屋を借りることができ、プールやバスケットコート、ジムなどが利用できる。寮に住まないと友人ができずらいが、エアコンなし、3 人部屋、水回り共同利用、ゴミ多発などが耐えられない人は大学近くの Condominium を借りることを強くお勧めする。生活に関しては食事が最も日本人にとって問題だと思う。野菜の値段が日本の倍近くするだけでなく、ジャンクフードや甘いものを好んで食べる国なので、健康維持を意識しなければすぐに太ってしまう。また味についてもそこまでおいしいものはないので、食事から得られる満足度は低い。移動手段に関しては、マニラの中心地なら MRT という電車を使うことができるが、それ以外なら Grab タクシーか 2 人乗りバイクでの移動が安全性と値段を考慮して最善だと思う。

### 留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

フィリピン大学ディリマン校に来るうえで私が伝えたいことは主に 2 つある。1 つ目は、英語力を磨くことである。応募の際の TOEFL 等の要件が低く設定されていると思うが、この大学に通う学生は 99% の日本人よりもはるかに英語ができるため、自分自身も 4 技能すべてにおいて勉強しておく必要がある。私は渡航時の英語力が TOEFL iBT 97 点であったが、そのレベルで平凡な会話や議論ができる程度である。だからこそ出発前にできる限り英語力を高めることを強く勧める。2 つ目は大学システムのクオリティの低さである。大学生活を営むうえでやらなければならないすべてのプロセスが非効率かつ時間のかかるものであるため、それを受け入れる覚悟をしておいてほしい。授業登録、授業資料の配布の仕方、書類の手続き、食事場所の確保など他にも挙げればきりが無いが、とにかくそういう国だと受け入れてほしい。ここまで現実的なことばかり書いてきたが、フィリピン人は日本人に対して非常に好印象であり、彼らのオープンな性格も相まって人間関係で困ることはあまりないと思う。だから心配せずぜひ留学に挑戦してほしい。